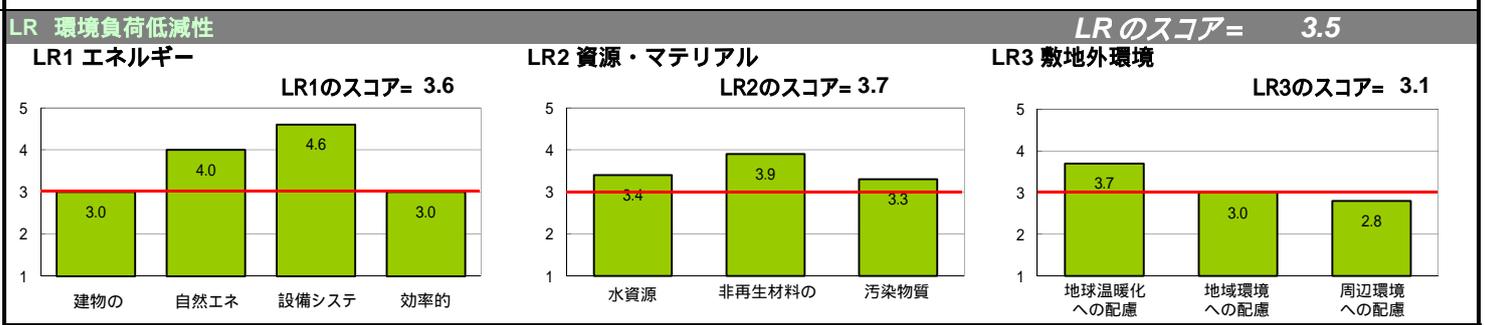
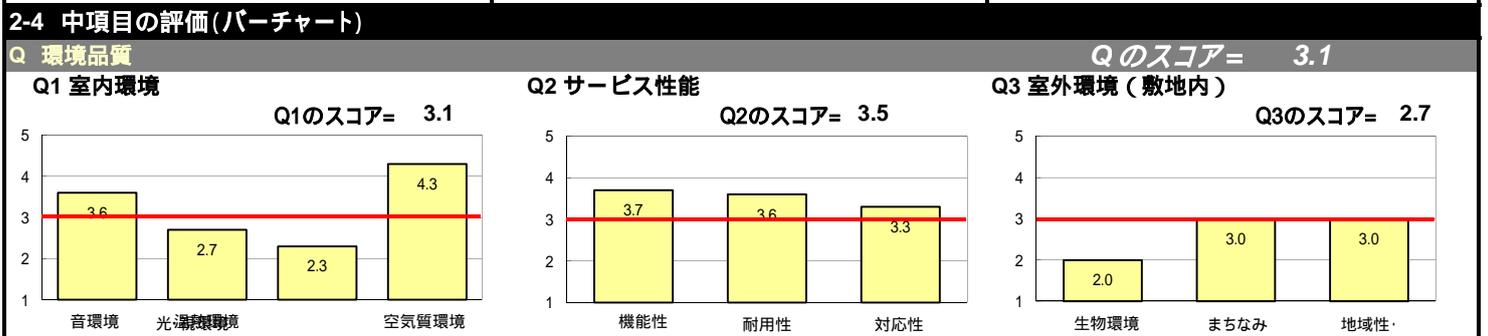
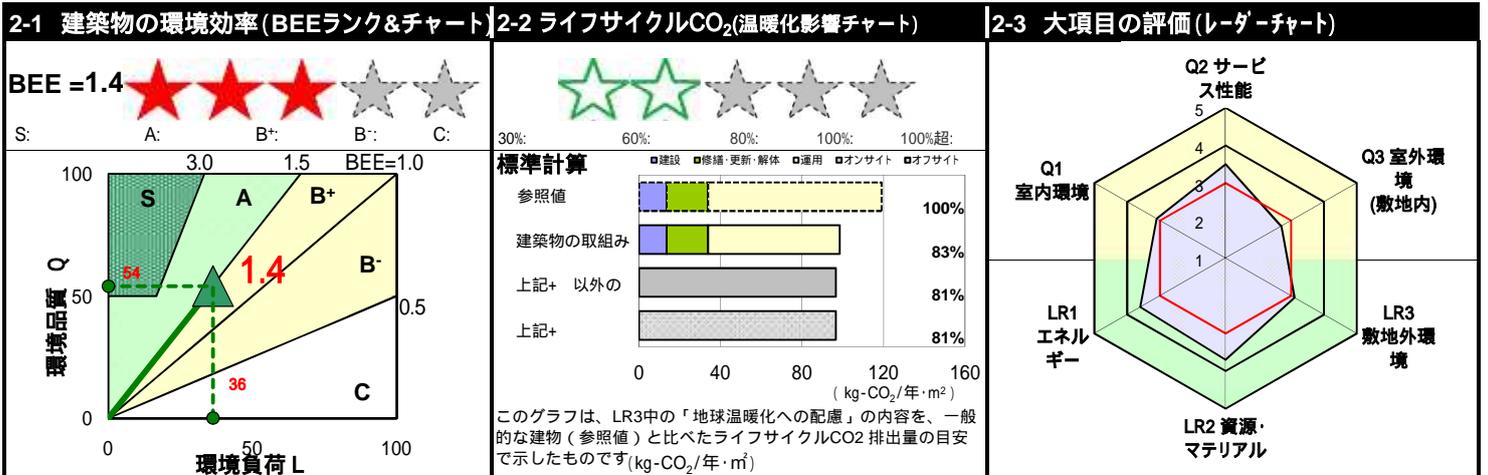


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	藤沢商工会館ミナパーク	階数	地上6階
建設地	藤沢市東横須賀575-9他8筆(底地)	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	50人
気候区分		年間使用時間	3,600時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年4月 予定	評価の実施日	2013年5月1日
敷地面積	1,313 m ²	作成者	(株)平山建築設計事務所
建築面積	976 m ²	確認日	2013年5月7日
延床面積	5,969 m ²	確認者	(株)平山建築設計事務所



3 設計上の配慮事項

総合	その他
敷地は藤沢北口駅前周辺整備計画の中で「交流ゾーン」として位置付けられているため、藤沢市内の商工業者及び市民の情報収集、情報発信、相互交流のための拠点施設となるよう計画した。 地球温暖化対策として建物の省エネだけでなく太陽光発電による自然エネルギーの利用、GHP式空調によるエネルギーの分散調達、Low-eガラスによる省エネ対策、EV用充電器の設置など多様な対応を配慮した。	当建物は藤沢北口駅前地区整備計画の中で地区のランドマークとして位置付けられている。 また、周辺に「遊行寺」「藤沢宿」といった歴史的な景観も残されている地域であることから、モダンな中にも歴史を感じられるデザインを心がけ、「蔵の窓」をモチーフとした石張りのファサードを低層部に用い、歩道状空地としたセットバック部分には遊行寺参道の石畳を連想させる舗石を敷き、歴史ある街並みの継承を計画している。

<p>執務空間及び会議室として機能的で快適な空間となるよう配慮した。 6階多目的ホールは会員のみならず、市民に向けた様々なイベントに対応できるホールとして計画している。</p>	<p>来館者に対しわかりやすく使いやすい施設となるようバリアフリー対応も含め配慮した計画としている。</p>	<p>前面道路よりセットバックし歩道と一体となる歩道状空地を提供すると共に交差点に位置することから、ピロティ部分を広場的な役割を持たせるよう配慮し、敷地周囲に植栽を設け環境に配慮した。</p>
<p>LR1 エネルギー 主なエネルギーとして電気、都市ガスに加え太陽光発電の自家消費を計画している。 災害時用の非常用発電装置の他、GHP空調室外機の一部にガスによる発電装置を備えている。 また、地下駐車場にはEV用急速充電設備の設置を計画している。 エレベーターの制動運転時の回生エネルギーを電力として使用している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル 衛生器具は節水型のものを使用し、タイル、歩道ブロックなどは再生材を利用したものを採用するよう計画した。</p>	<p>LR3 敷地外環境 雨水を一時貯留する施設を設置した。 敷地周辺には、植栽を設け一部壁面緑化を計画している。</p>

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質)、**L: Load** (建築物の環境負荷)、**LR: Load Reduction** (建築物の環境負荷低減性)、**BEE: Building Environmental Efficiency** (建築物の環境効率)
「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される